

来週の「売り物」記事はこれ



2012年2月24日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

<東日本大震災から1年>

もうすぐ東日本大震災の発生から、3月11日で1年が巡ってきます。毎日新聞では、さまざまなページを総動員して、大震災1年を多角的に報道していきます。

1面や3面などでは、この1年を通じて被災地などで見えてきた問題点や今後の課題などをいろいろな角度から分析・検証します。

また、社会面などでも多くの被災者らの声などを取り上げていきます。

便利な段ボール家具 くらしナビA面 28日(火)

段ボールで作った家具が注目されています。紙製とはいえ、意外に丈夫なうえ、軽くて処分もしやすく、家具などたくさんの家財道具が流されてしまった東日本大震災を機に被災地でも人気が上がっています。段ボール家具の特色や利用法などをお伝えします。



段ボール製ベッド

東日本大震災1年企画 くらしナビA面 3月1日(木)



昨年3月に発生した東日本大震災から1年がたつのを機に、暮らしに関するさまざまな問題を改めて考える企画を始めます。放射線量が高いホットスポットではどのような除染が進んでいるか、小売店や食品メーカーの安全対策は？など身近な問題を取り上げます。

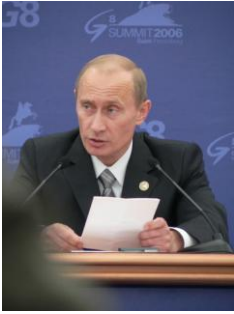
被災地のどうぶつたち くらしナビC面 28日(火)

大震災から1年が過ぎようとする中、被災地では今なお、飼い主を失った動物たちの保護活動が続けられています。全国から温かい支援の手がさしのべられ、里親探しも続いています。大人の猫などは引き取り手もなく置き去りに。現状や支援活動を取材しました。



「揺れるロシア 2012 大統領選」

3月4日（日）



3月4日（日）に隣国ロシアで大統領選挙が行われます。現在のメドベージェフ大統領に代わって、2000～2008年にも大統領を務めたプーチン首相＝写真＝の「返り咲き」が確実な情勢です。一方で、モスクワなどロシア各地で昨年未から、これまでになかった市民の大規模な反政府デモが何度も開かれています。選挙の行方だけでなく、こうした「反プーチン」の動きの底流にあるロシア社会の変化などを多角的に取り上げる企画や分析記事を、4日まで国際面で随時掲載します。

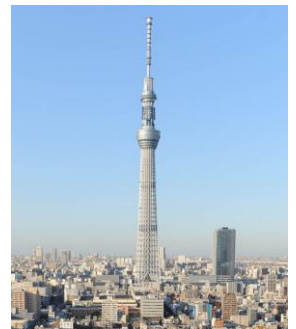
連載「東京スカイツリー誕生物語」

29日から

自立式電波塔として世界一高い東京スカイツリー＝写真＝（東京都墨田区、634m）が2月29日に完成します。内装工事を経て、5月22日に開業予定です。地元の墨田区では開業に向けお祝いムードが高まっています。

タワーが完成する2月29日から連載「東京スカイツリー誕生物語」（計5回掲載予定）をスタートします。

連載では事業主体・東武鉄道や設計・施工業者による未知の高さ、新たな技術への挑戦、受け入れ体制整備に取り組む地元商店街や墨田区の担当者など完成に到るまでスカイツリーに関わった人たちのこれまでの人間ドラマ、熱い想いを中心に紹介します。



夕刊連載「歩いた。そして考えた～3・11から1年 東京で」

2月29日から5回



東日本大震災から1年。夕刊編集部からは5人の記者が被災地に入り、取材しました。その時に感じたことは、記者一人一人の胸に深く刻まれています。いま、記者たちは全員、東京に戻ってきました。その首都、東京は、普通通りの日常が繰り広げられています。惨状を見てきただけに、記者たちは被災地との激しいギャップも感じるといいます。被災者を忘れてしまったように党利党略に明け暮れる永田町、原子カムラの牙城である東京大学、東北の玄関口である上野——など、都内の5つのポイントから、記者たちが感じた思い、願いをお伝えします。

水俣病を告発したアイリーン・スミスさんが語る「福島」の悲劇

夕刊特集ワイド面 27日（月）

福島の惨事は、水俣病のそれと同じです——。怒りを込めてそう話す女性があります。写真家ユージン・スミス氏（78年死去）とともに、水俣病の悲劇を世界に発信し続けたアイリーン・美緒子・スミスさんです。二つの悲劇の様相には「不公平」という点で、共通項があると話します。＜都市のためにしいたげられる地方＞という構図は、水俣病も今回の福島原発事故＝写真＝も、同じであると感じているようです。事故後、何度か福島を訪れたアイリーンさんがいま、気がかりなのは、被害者間での対立だといいます。「被害者の苦しみは、その立場に立たないと分からない。それでも声を上げようと思う」。福島に寄せる思いを語りました。



“知りたいが分かる、がモットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。